

2013年7月10日

各位

京都水族館

矢口高雄 × 京都国際マンガミュージアム × 京都水族館

「釣りキチ三平と魚たち展」7月13日(土)～9月1日(日)開催

- ▶ 三平が釣りあげた魅力あふれる日本各地の魚たちを展示
- ▶ 「釣りキチ三平」作者 矢口高雄氏との対談を開催
- ▶ 「京都国際マンガミュージアム」の協力で「京都水族館のおさかなマンガ教室」を開催

『京都水族館』(京都市下京区、館長:榊原 茂)は、マンガ「釣りキチ三平」作者 矢口高雄氏と、「京都国際マンガミュージアム」(京都市中京区)の協力のもと、企画展示「釣りキチ三平と魚たち展」を、2013年7月13日(土)～9月1日(日)の期間に開催します。

また、矢口高雄氏との「アユの友釣り」と自然」をテーマにした対談や、「京都国際マンガミュージアム」の協力のもと体験プログラム「京都水族館のおさかなマンガ教室」を開催します。



1. 企画展示「釣りキチ三平と仲間たち展」～三平が釣りあげた魅力あふれる日本各地の魚たちを展示～
2. 「釣りキチ三平」作者 矢口高雄氏と「アユの友釣り」と自然」をテーマにした対談を開催
3. 「京都国際マンガミュージアム」協力「京都水族館のおさかなマンガ教室」を開催
4. いきもの大好きおやじがお答えします「水辺のいきもの質問コーナー」を開催
5. 「アユの塩焼きドッグ」を期間限定で販売

1. 企画展示「釣りキチ三平と魚たち展」～三平が釣りあげた魅力あふれる日本各地の魚たちを展示～

「釣りキチ三平」は、矢口高雄氏が1973年に連載を開始したマンガです。豊かな自然を舞台に三平とその仲間たちが挑む臨場感あふれる釣りのシーン、いきいきとした人物描写、読み手をワクワクさせるストーリー展開の面白さなどから、連載開始後約40年を経た現在も、根強い人気を集めています。

「釣りキチ三平と魚たち展」は、「釣りキチ三平」の作者である矢口高雄氏と、京都市と京都精華大学が共同運営する日本初のマンガ博物館・図書館「京都国際マンガミュージアム」の協力のもと、開催します。

自然を愛し、魚を愛し、釣りを愛する「釣りキチ三平」の世界を通して、いきものや自然の大切さ、人と自然との共生をお伝えします。



「水のプリンセス」アユなど、三平が釣りあげた魅力あふれる日本各地の魚たちを展示。

展示期間：2013年7月13日(土)～9月1日(日)

展示場所：山紫水明ゾーン

展示生物：アユ、イトウ、ムツゴロウ、アカメ、テツギョなど

マンガ「釣りキチ三平」で三平が釣りあげた日本各地の魚など、約8種・50点

その他：作者 矢口高雄氏の直筆メッセージ、三平が釣りあげた魚が生息する日本各地の情報などを展示

【本件に関するお問い合わせ】 京都水族館 広報室 奥村・久保田

TEL：075-354-3116 FAX：075-354-3152 MAIL：press-kyoto@orix-aqua.co.jp

見どころ①「水のプリンセス」“アユ”を展示

清流にきらめく美しい姿から、「水のプリンセス」と呼ばれるアユの展示と、日本独自の釣り手法で、アユの縄張りを守る習性を生かした「アユの友釣り」を紹介します。

「釣りキチ三平」はアユに始まり、アユで終わります(第1章と最終章で「アユの友釣り」シーンが登場)。京都では夏の風物詩のひとつとして親しまれているアユですが、「釣りキチ三平」にとっても大切な意味を持った魚と言えるのです。

アユは、石などについた苔を餌にします。そのため、苔のたくさんついた石を縄張りにし、近づく他のアユに体当たりして追い払います。この習性を利用し、体当たりしたアユを釣りあげるのが「アユの友釣り」です。

「釣りキチ三平と魚たち展」では、石を縄張りにする自然に近いアユの姿をご覧ください。また、マンガ「釣りキチ三平」の「アユの友釣り」のシーンなどをご紹介します。

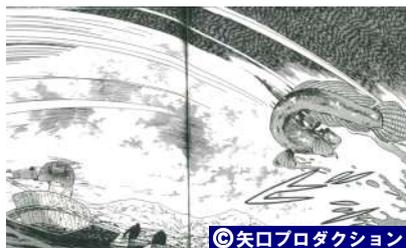


京の夏の風物詩、アユは「釣りキチ三平」の中でも多数登場します。

見どころ② 釣りキチ三平が釣りあげた日本各地の魚たちを展示し、その地域の自然を紹介

「釣りキチ三平」は、日本各地、世界各地の川、湖、海などさまざまなフィールドで、多くの魚や、釣り仲間たちと、名勝負を繰り広げてきました。

「釣りキチ三平と魚たち展」では、北海道釧路湿原のイトウ、佐賀県有明海のムツゴロウ、高知県四万十川のアカメなど、三平が日本各地で釣りあげた魚たちを展示し、あわせてその地域の自然を紹介することで、次世代に繋いでいくべき大切な日本の自然環境について、楽しみながら、学んでいただけます。



北海道の釧路湿原に生息
日本最大級の淡水魚イトウ



佐賀県有明海の干潟に生息
夏期にはオスが飛び跳ね求愛するムツゴロウ



高知県四万十川の汽水域に生息
ルビー色に輝く目をしたアカメ

【本件に関するお問い合わせ】 京都水族館 広報室 奥村・久保田
TEL : 075-354-3116 FAX : 075-354-3152 MAIL : press-kyoto@orix-aqua.co.jp

見どころ③ 作者 矢口高雄氏の直筆メッセージを展示

釣りマンガという分野を超え、生物と自然の大切さ、人と自然との共生を訴える「釣りキチ三平」。作者の矢口高雄氏は、どのような想いを込めて、このマンガを作り上げたのでしょうか。

今回の企画展示に合わせ、『京都水族館』の来館者に向けて特別に書いていただいた矢口高雄氏の直筆メッセージを展示します。

【矢口高雄氏プロフィール】

1939年秋田県雄勝郡西成瀬村（現在の横手市増田町）生まれ。1970年「鮎」で小学館週刊少年サンデーよりマンガ家デビュー。1973年週刊少年マガジンにて「釣りキチ三平」の連載が始まり、日本中に一大釣りブームを巻き起こす。1974年「釣りキチ三平」「幻の怪蛇パチヘビ」により第5回講談社出版文化賞（児童まんが部門）受賞、1976年「マタギ」で日本漫画家協会賞（グランプリ）受賞、また2008年には秋田県横手市から「功労賞」、秋田県から「秋田文化功労賞」を受賞。文部科学大臣から「地域文化功労者」として表彰される。



「釣りキチ三平」作者 矢口高雄氏

2. 「釣りキチ三平」作者 矢口高雄氏と「アユの友釣り」と自然をテーマにした対談を開催

7月14日（日）、「釣りキチ三平」の作者 矢口高雄氏、「釣りキチ三平」のマンガにも登場した株式会社つり人社 代表取締役の鈴木康友氏、当館展示飼育部長の下村実の3名で「アユの友釣り」と自然をテーマに対談を行います。矢口高雄氏が魚の中でもとりわけ強い情熱を持ち、「釣りキチ三平」でも多数登場する「アユの友釣り」を話のきっかけにして、いきものや自然にふれあうことの楽しさ、大切さなどをテーマに対談をしていただく予定です。



「釣りキチ三平」
作者 矢口高雄氏
(プロフィールは上記ご参照)



株式会社つり人社
代表取締役 鈴木康友氏



京都水族館
展示飼育部長 下村実

【鈴木康友氏プロフィール】

1949年、東京都葛飾区生まれ。1971年、株式会社つり人社入社。月刊「つり人」の編集に携わり、後に編集長として幅広いジャンルの釣りを取材する傍ら、バスフィッシング専門誌「Basser」、フライフィッシング専門誌「Fly Fisher」など創刊し、編集長を兼任。また、約20年に及ぶ人気別冊シリーズ「鮎釣り」、「鮎マスターズ」などの創刊も手がける。1996年、代表取締役社長に就任。

【下村実プロフィール】

1965年、大阪府高槻市生まれ。1987年、海遊館に入社。立ち上げ時の魚類採集にも携わり、日本で初めてジンベエザメの長期運搬にも成功した。2010年、オリックス不動産（京都水族館を運営）に入社。「魚類」「海獣類」の飼育責任者である展示飼育部長を務める。

開催日：2013年7月14日（日） 開催時間：13時00分～14時00分
開催場所：山紫水明ゾーン 参加料金：無料
参加定員：30名 申込方法：9時00分より「山紫水明ゾーン」で整理券配布（先着順）

【本件に関するお問い合わせ】 京都水族館 広報室 奥村・久保田
TEL：075-354-3116 FAX：075-354-3152 MAIL：press-kyoto@orix-aqua.co.jp

3. 「京都国際マンガミュージアム」協力「京都水族館のおさかなマンガ教室」を開催

「京都国際マンガミュージアム」協力のもと、7月13日(土)、14日(日)の2日間、「京都水族館のおさかなマンガ教室」を開催します。

マンガを用いたワークショップを数多く実施している「京都国際マンガミュージアム」の小川剛研究員のアドバイスのもと、「釣りキチ三平と魚たち展」の水槽を泳ぐアユをじっくりと観察し、特徴をしっかりと捉えます。そしてマンガ独自の手法を用いアユの姿を表現し、あなただけの4コママンガを作っていただきます。



「京都国際マンガミュージアム」で行われたマンガ教室の様子

このプログラムを通して、アユの生態や行動、マンガの表現技法を学んでいただけます。



【小川剛研究員プロフィール】1981年京都府生まれ。京都精華大学大学院芸術研究科博士前期課程修了。現在、京都精華大学国際マンガ研究センター研究員。マンガを用いた体験型学習プログラム、ワークショップの構築と実施に従事。美術科教育でのマンガの活用モデルや指導案などを構築。自身もマンガ制作を行い国内外の展覧会出展やイラスト制作など活動している。

開催日：2013年7月13日(土)、14日(日)

開催時間：各日とも、①11時00分～12時30分 ②14時30分～16時00分の2回

開催場所：交流プラザ

参加対象：9歳(小学校4年生)以上

参加料金：無料

参加定員：各回15名

申込方法：交流プラザにて当日受け付け

4. いきもの大好きおやじがお答えします「水辺のいきもの質問コーナー」を開催

小さい頃、「釣りキチ三平」を夢中になって読み、その気持ちを忘れずに飼育スタッフへの道を歩んだ2人のいきもの大好きおやじが、水辺のいきものについての質問に、愛情込めてお答えします。

『京都水族館』の展示で気になったことや、開催中の「釣りキチ三平と魚たち展」について、また夏休みの自由研究で困っていることなど、どんな質問にも丁寧にお答えします。



昨年の「水辺のいきもの質問コーナー」の様子
たくさんのお子様たちで賑わっていました

2人の飼育スタッフ(いきもの大好きおやじ)が、皆さまからの質問にお答えします。



下村 実(しもむらみのる)

海にすむ魚の質問のほかイルカなどの海獣類の疑問にもお答えします。気軽に立ち寄ってくださいね。



関 慎太郎(せきしんたろう)

川にすんでいる魚やカメに加え、オオサンショウウオやカエルなど両生類についての質問を待っています。

開催日：2013年8月19日(月)～8月23日(金)

開催時間：各日10時00分～13時00分

開催場所：交流プラザ

参加料金：無料

【本件に関するお問い合わせ】京都水族館 広報室 奥村・久保田

TEL：075-354-3116 FAX：075-354-3152 MAIL：press-kyoto@orix-aqua.co.jp

5. 「アユの塩焼きドッグ」を期間限定で販売

「釣りキチ三平と魚たち展」のアユの展示にちなみ、アユの塩焼きをまるごと一尾、やわらかなパンにはさみ、大葉と蓮根チップをトッピングした「アユの塩焼きドッグ」を販売します。

ダイナミックな見た目が印象に残る「アユの塩焼きドッグ」は、香ばしいアユの香りとふっくらとした食感、程良い塩味がパンと意外に好相性で、さらに大葉の爽やかな香り、ガーリックパウダーをふりかけた蓮根チップの風味がアクセントとなり、ビールにも良く合う大人向けの一品です。京の夏の風物詩 アユを新しい形で味わえます



販売時間：2013年7月13日(土)～9月1日(日) 販売場所：山紫水明カフェ
価格：500円(税込)

【京都水族館 施設概要】

場所	京都市下京区観喜寺町 35-1(梅小路公園内)				
営業時間	9:00～17:00 ※ご入場、チケットおよび年間パスポートの購入・手続きの受け付けは閉館の1時間前までです。				
休館日	なし(年中無休) ※施設点検、気象状況などで臨時休業をする場合があります。				
料金(税込)	【個人のお客様】	大人	高校生	中・小学生	幼児 (3歳以上)
	一般料金	2,000円	1,500円	1,000円	600円
	※障がい者手帳をご提示の方とご同伴者(1名様)は、入場料金が一般料金の半額となります。 ※中学生、高校生の方は、チケット売り場で生徒手帳をご提示ください。				
	年間パスポート	4,000円	3,000円	2,000円	1,200円
	※障がい者手帳をご提示の方とご同伴者(1名様)は、入場料金が一般料金の半額となります。 ※中学生、高校生の方は、チケット売り場で生徒手帳をご提示ください。				
	【団体のお客様】	大人	高校生	中・小学生	幼児 (3歳以上)
	一般団体(20名様以上)	1,800円	1,350円	900円	540円
	学校団体 ※引率教員の方は無料 (一部上限あり)	保護者・ 高校生以上	中学生	小学生	園児 (0歳から有料)
	1,200円	720円	500円	360円	
※学級の行事としてのご入場の際に適用となります					
アクセス	「京都」駅中央口より西へ徒歩約15分 「京都」駅より、京都市バスで約8分「七条大宮・京都水族館前」下車、京阪京都交通 で約5分「七条大宮・京都水族館前」下車、または西日本 JR バスで約5分「七条大宮・ 京都水族館前」下車 土日祝は京都市バス「水族館シャトル」が運行(乗車時間約5分)				
館内構成	京の川ゾーン、かいじゅうゾーン、ペンギンゾーン、大水槽、海洋ゾーン 交流プラザ、イルカスタジアム、山紫水明ゾーン、京の里山ゾーン				

【本件に関するお問い合わせ】 京都水族館 広報室 奥村・久保田

TEL : 075-354-3116 FAX : 075-354-3152 MAIL : press-kyoto@orix-aqua.co.jp